

釜ヶ崎解放会館に三矢に

労働者千名獲集!

釜の仲間たち。

きのか、釜の労働者の結成「釜ヶ崎解放会館」の会館どうもか、30をこえる組織団体、千名近い釜労働者の集結が行われ、寄集場の歴史に一石をいさす、秋長の連集を、モチツキ大会、競杯で祝い合った。

この秋長づくりを起長に、釜ヶ崎労働者はかりでなく、ママ・コトブキ・ササジマの全口の家を場労働者、さらには、全山の田舎労働者の田結と解放を目ざして、あらゆる問題にわたって、強固なしつこい、闘いをおと進めを行なおう。

アセリの西成警察、ムネク夫の連庄!

逮捕三名 重傷数名

この仲間たちの新たな田結とより上りをおそれた、板力、西成警察は、50名のデカ、100名の隊を動員し、会館にアセリのアイサツをやりはじめのや否や、イキナリ、コヤメをいとバクマゴとわめきかたり、ゆが釜日労働の委員長をくめ、めろ名を中心若手家を不当逮捕した。のみならず、他釜日労働者を含み十数名の労働者を暴行を加えながら、西

成署へ連行し、現場検証と稱して解放会館の
スミから屋上まで土足で荒し回ったのである。

この弾圧で釜日労の中心的メンバー2名が、ポリ公
のナチス棒でメタメタにうたれ頭、顔などにヒドイ
打傷を負った他、多数の労働者がポリの暴行で打傷
した。

三里塚闘争阻止のヨロシキをうけた奴方はヤミモ
に弾圧の刃を斗う人民に向けようとする。とりわけ、今釜
ヶ崎では、奴方の攻勢の時代から、逆に、再び労働者の
反撃の時代へと入りつつある。この時、釜日労・全国
日雇共斗を中心とする労働者解放勢力が、地裏と
築いた連帯努力はアワを合っており、この先弾圧は
敵のヤセリをまざまざと示しているのである。

**不当弾圧にめげず会館ビルキを勇
働者の団結力で克行!**

仲間たち。オレたちは不当逮捕、不当弾圧を承
て許さない。オレたちはこのよおな奴方の弾圧をはね
返そう。この解放会館をトリキには、断固、日雇労働
者解放の大道をつき進む。強い団結力で

共に斗いぬいて行くさあ!

釜ヶ崎解放

1978
4月17日

釜ヶ崎日雇労働組

632-4273
649-6413